リアルタイム事務事業評価調書①【会議資料】

令和　６　年　７　月　８　日　作成

事業名	長寿祝金等支給事業					
担当部署	部	健幸いきいき部	課	地域包括ケア推進課	係	高齢者支援係

A）基本情報

基本施策	２　健康であたたかい心のかよいあうまちづくり									
分野別施策	施策2　－　２　高齢者福祉【重要施策】									
	－									
展開方向	□　高齢者の就業や社会参加の機会拡大及び介護予防の促進									
	□　高齢者が地域で安心して暮らすことができる環境づくり									
	□									
予算科目	会計	一般	款	３	項	１	目	３	事業番号	４
事業名称	高齢者慶祝事業費								継続・新規	継続して実施している事業

B）事業概要・事業目的

事業の概要・目的	≪東大和市長寿祝金等支給要綱≫東大和市に居住する長寿の高齢者に対し、長寿祝金及び花束を贈り、その長寿を祝うとともに敬老の意を表すことを目的とする。 長寿祝金：満百歳以上の最高齢者30,000円、満百歳の高齢者10,000円（訪問して支給）

C）過去の実績（事業の実績を示す数値　又は　事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可です。

	実績の説明	単位	令和3	令和4	令和5
①	支給者数（最高齢者及び百歳高齢者）	人	10	22	7
②					
③					
④					
⑤					
	数値として出せる実績はない（下記に理由を記入↓）				

実績を出せない理由	

D）昨年度（令和5年度）における事業の課題や反省点

①	制度を開始した平成17年度から約20年が経過する中、高齢者福祉施策としての公費負担について検討
	が必要となっている。
②	高齢化の進展に伴い、今後の対象者数の増加が見込まれる。

【参考：令和６年３月現在年齢別人数】

90歳	91歳	92歳	93歳	94歳	95歳	96歳	97歳	98歳	99歳
358人	309人	234人	160人	139人	88人	68人	56人	43人	19人

③	国及び東京都で類似の事業を実施。（国：祝い状、銀杯。都：祝い状、日傘・江戸切子等から選択）

E）令和6年度の事務の進め方（予定含む）※なるべく時系列に沿って記入してください。

①	対象者となる可能性のある高齢者を抽出
②	対象者の決定（起案）
③	対象者に事業の趣旨を説明し、支給（訪問）日程を調整
④	長寿祝金及び花束の手配
⑤	対象者に長寿祝金及び花束を訪問して支給（最高齢者：市長訪問、百歳高齢者：課長訪問）
⑥	完了報告、精算手続き
⑦	※誕生月ごとに上記を繰り返し行う。令和６年度の対象者：２０人（最高齢者含む予定）
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

F）令和6年度中に目指す目標・状態

※「○○意識を高める」、「理解を深める」等といった成果が不明確な目標ではなく、できるかぎり効果が数値化できる目標にしてください。

次年度以降の事業について、廃止に向けて検討する。

G）当該会議で聞きたいこと

※ある場合のみ記入してください。詳細は会議で説明してください。

①	令和６年度末で廃止する場合の問題点など、意見を伺いたい。
②	
③	
④	
⑤	

H）評価会議での意見・助言等

①	金銭の授受は伴わない形で、市が長寿を祝う、敬う制度は残しておいた方が良いのではないか。
②	最高齢の方等、敬老の日に合わせて市報等で該当者を紹介してはどうか。（本人の許可を取った上で。）
③	
④	
⑤	

リアルタイム事務事業評価調書②【実績報告・分析】

令和　7　年　3　月　10　日 作成

事業名	長寿祝金等支給事業					
担当部署	部	健幸いきいき部	課	地域包括ケア推進課	係	高齢者支援係

A）リアタイ評価会議後に対応したこと・参考としたこと

評価会議で出された意見について、課内で共有したが、当該事業については廃止の方向で進めることとした。

B）R6年度の実績（事業の実績を示す数値又は事業の目標としたものの結果）

	実績の説明	単位	目標値	R6実績値	【参考】R5実績値
①	支給者数（最高齢者及び百歳高齢者）	人	―	10	7
②					
③					
④					
⑤					

□ 数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由と当初の目標と代替する目標を記載してください）

理由　及び 代替する目標	
R6実績は 去年と比べて	□ 向上した □ 例年通り □ 低下した ☑ その他
左記とした理由　又は　分析等（向上・低下した要因等）：支給者数は増加した。	

C）分析（令和6年度の実績を踏まえて）　↓　該当するものに○をつけてください　↓

①この事業の**有効性**は ニーズとコスパ、執行体制、手法として最適か　等		高い	○	普通		低い
①の理由：						
②この事業における**市民協働・市民協創**の余地は ※市民協働、市民協創については別紙参照。		多くの余地がある		余地がある	○	余地がない
②の説明：令和６年度末で廃止予定						
③この事業が今後**民間活力**等を活用する余地について		多くの余地がある		余地がある	○	余地がない
③の説明：令和６年度末で廃止予定						
④この事業が今後類似事業と**統合・再構築**できるか ※類似事業がある場合のみ回答		可能である		検討の余地がある	○	不可能である
④の説明：令和６年度末で廃止予定						
⑤**近隣市の類似事業と比較して**充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答		他市より 充実している	○	他市と同程度		他市の方が充実
⑤の説明：						
⑥**東大和市独自の個性**を出している事業か		市の特長、個性を 出せる事業である	○	他市と同程度 個性はない		
⑥の説明：						

リアルタイム事務事業評価調書③【課題・今後の方向性、事業コスト】

A）来年度以降の課題や見直すべき点　※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。

①	特になし
②	
③	
④	
⑤	

B）来年（令和7年度）の取組予定　※事務予定または、改善事項を記入してください。

①	事業廃止
②	
③	
④	
⑤	

C）上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等　※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。

①	事業廃止に係る事務手続き
②	市民への周知
③	
④	
⑤	

事業コスト　（　7　年　3　月　10　日 時点　）

予算科目	会計	一般	款	3	事業番号	4	事業名称	高齢者慶祝事業費
			項	1				
			目	3				

R6予算額及び決算額　※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。　単位：円

R6予算額		R6決算額(暫定)		【参考】R5決算額	
事業費合計	426,000	事業費合計	175,000	事業費合計	131,379
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
7 報償費	423,000	7 報償費	175,000	7 報償費	128,500
10 需用費	3,000	10 需用費	0	10 需用費	2,879
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	426,000	一般	175,000	一般	131,379
国	0	国	0	国	0
都	0	都	0	都	0
市債	0	市債	0	市債	0
その他	0	その他	0	その他	0